



ケンプンスイッチ

2月号



楽しい冬季オリンピック。ところで、国際競技にはさまざまな大会があることをご存知ですか？

2月6日から熱戦が繰り広げられるミラノ・コルティナ2026冬季オリンピック。冬の五輪はスキー、スノーボード、スケートなどダイナミックでスリルのある競技が多く、見るものを夢中にさせます。また「氷上のチェス」といわれるカーリングや、動と静の切り替えが見どころのバイアスロンなど、息を潜めて凝視するような競技もあり、楽しみ方も多彩です。

一方、国際競技大会というのはスポーツだけに止まりません。囲碁やチェスなどの世界大会、数学や物理などの国際科学オリンピック、そしてさまざまな職種で技術を競う技能オリンピックなどがあります。そうした大会の一つとして、「印刷技術世界選手権大会2025」が昨年11月にドイツのハイデルベルグで開催され、研文社の上岡史聖さんが日本代表として出場、3位入賞を果たしました。この大会は25歳以下の若者を対象に印刷の技術を

競うもので、上岡選手は社内研修に加えてEPC-JAPAN加盟社での武者修行などで腕を磨き、みごと世界3位の評価を獲得！同世代の各国代表とはスマホ翻訳で交流をするなど、仲間意識も芽生えた大会となりました。

研文社はこれからも印刷技術の向上に向けてたゆまぬ努力を続けていきます。



▲日本代表上岡選手

PRINT
TECHNOLOGY
WORLD
CHAMPIONSHIPS
2025



▲授賞式の様子